

第13回理事会議事録

1. 日時 : 2013年12月20日(金) 午後6時30分～8時40分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F
3. 出席者:【出席12名】 鳩山勝郎、山口知也、兼岩芳樹、神代高弘、
ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、寺本直志、
中谷忠義、久富浩、平田眞、山田和彦
【欠席1名】 細田博之(開会の挨拶のみ出席)
【監事2名】 大泉紘一、成田秀則(水谷建監事は欠席)
【事務局3名】 大政事務局長、清水普及事業部長、鈴木競技会事業部長代行
【オブザーバー1名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数:13名、定足数7名、本人出席12名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第1号議案 第12回理事会議事録案の承認について
議事録案を一部修正の上承認した。

第2号議案 公認クラブ申請について

以下の公認クラブ新規開設申請について審議の上承認した。

・新潟ブリッジクラブ(クラス2、クローズド)

マネージャー:宇田川志紀子

ディレクター:松本壽夫

開催日:不定期

会場:駅南コミュニティセンター(新潟市中央区米山4-12-20)

・田園調布ブリッジクラブ(クラス3、オープン)

マネージャー/ディレクター:佐藤牧子

開催日:毎月第1,3金曜日 13時30分～

会場:田園調布せせらぎ公園多目的室(東京都大田区田園調布1-53-10)

第3号議案 正会員の承認について

以下の会友より提出された入会申請につき審議を行い、これを承認した。

橋本公二(会員番号20217)

第 4 号議案 会員の逝去について

以下の会員 2 名の逝去の報告があった。

浅井サキ（会員番号65292、12月1日）

長沢逸夫（会員番号 7926、12月8日）

第 5 号議案 2014 年度予算案について

2014 年度予算第一次案が提出され、現時点で収入 2 億 5012 万 1420 円、支出 2 億 5011 万 4035 円、差引 7385 円の黒字との説明があった。

山田企画委員長より今年度は NEC ブリッジフェスティバルの 2 回開催など特殊事情があり、約 1700 万円の赤字予算となったが、来年度は特殊な事情がないため、均衡予算を目指す。当初各事業部から提出された予算案をまとめた段階では 600 万円程度の赤字であったが、主に普及事業部の予算を削った形で予算案を作成したと説明があった。

中谷理事より NEC ブリッジフェスティバルの内容について見直しを行い、3 月理事会までに修正予算案を提出すると発言があった。

第 6 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田企画委員長より 12 月 6 日に開催された企画委員会での議事内容について説明があった。

- 昨年 9 月に首都圏ブリッジセンター連絡会より提出された要望書のうち、公認料の減額について以下の回答を行い、首都圏ブリッジセンター連絡会の会合で説明を行った。

1. セクショナル以上の公認料を現行の 25%から 2014 年度は 22%に下げる。センターについては 2014 年度の普及活動実績があるセンターは翌年度の公認料を 22%のまま据え置くが、普及活動のないセンターは翌年度の公認料を 25%とする。活動実績は年度途中でチェックを行い、達成度合いが低いセンターには是正勧告を行う。
2. 2013 年 10 月よりマスターポイント 100 点未満のプレイヤーを対象とした競技会の公認料を免除しているが、趣旨に合致する競技会であれば、さらに範囲を拡大する。
3. センターの講習会開催に対して、地域誌広告料の半額補助、JCBL による合同広告、アシスタント料補助など、支援を拡大する。
4. 公認クラブ規則改正案を示して意見を募集中。
5. 連盟主催競技会は消費税が 8%になっても競技会費値上げは行わない。消費税が 10%になる時点で改めて検討を行う。センターは個別

に対応を決定する。

中谷理事より公認料免除となった冬季 IMP リーグジュニア 2 の参加状況が夏季と比べて増えているかどうか質問があり、現状のチーム数を調査することになった。

● 2014 年度予算案および事業計画書について

- ・事務局より 2013 年度予算との相違が大きい項目について詳細の説明があった。
- ・競技会事業部、普及事業部が主要項目について説明を行った。
- ・第一次予算案として、総括表と事業計画書用一覧表を 12 月理事会に提出する。

山田企画委員長より来年度の事業計画及び予算案について、各事業部間で調整を行うために、業務執行理事による業務執行会議において検討を行う提案があった。

今後の予算案作成については各事業部が予算案を作成し、その時点で業務執行会議を開き、事業部間での調整を行い企画委員会に提案する。各事業部の業務執行理事は企画委員として企画委員会に出席し意見を述べ、全体の予算案を作成することになった。

検討の結果、次回企画委員会開催日の 1 月 17 日までに日程調整の上、業務執行会議を開催することに決定した。その検討内容を受けて企画委員会で第二次予算案を作成し、1 月理事会に提出する。

2. 代表選抜委員会

12 月 14, 15 日に開催された第 2 回アジアカップ代表選抜試合の結果、以下のメンバーのウィメン代表決定の報告があった。

宮国亜矢子、大手瑠利、福吉由紀、伊藤美登利、島村京子、西田奈津子代表チームのメンバーである島村理事より NPC として小池和人氏を希望する発言があり、検討の結果これを承認した。

シニア部門について、現時点での参加申込は 2 チームだが、参加申込チームから登録料を徴収し、参加申込が 3 チーム以上になった場合、2 日間の代表選抜試合を行うとの報告があった。

シニアにはこれまで派遣助成を行ってこなかったが、選抜試合を行う以上助成を行うべきとの提案があり、検討の結果、選抜試合の有無にかかわらずシニア全体の枠としてオープンの助成額と同額を助成することに決定した。

今回の大会に関しては、選抜試合を行わない場合は各チームオープンの半額、選抜試合を行った場合は 1 位チームにオープンの 60%、2 位チームに 40%の助成を行うことに決定した。キャプテンについては各チーム 1 名の

場合はメンバーと同様の比率で、1名で2チームのキャプテンを務める場合はオープンのキャプテンと同額の交通費、滞在費を支給することに決定した。

中谷理事より代表選抜試合の開催場所を検討して費用を抑える提案があった。

3. 競技委員会

寺本競技委員長より11月6日に開催された競技委員会の議事内容について説明があった。

4. 普及事業部

清水普及事業部長より普及事業部活動報告があった。

- 入会キャンペーンは「新入会無料キャンペーン」と「紹介キャンペーン」の2本立てとする。

「新入会無料キャンペーン」はJCBL創立60周年を記念し、2014年1月から2015年3月まで最長15ヶ月分の新入会者の年会費を無料とする。再入会は対象外。

「紹介キャンペーン」は2014年1月から4月に登録手続きした新・再入会の紹介者にQUOカード(500円分)を進呈する。紹介者の資格は2013年12月末時点で会員会友の方で、最大4名まで紹介できる。

- 第28回国民文化祭・やまなし2013

11月2～4日に甲府駅正面の山梨県立図書館で体験教室と初心者大会を実施した。

- ゲームマーケット秋(11月4日)

ブリッジ体験コーナーに57名の参加があった。

- JCBLが協力したイベントについて報告があった。

- ジュニアクラブイベントの開催状況について報告があった。

- 広報関連として以下の報告があった。

・11月2日付の東京リビング、11月16日付のリビング東京副都心版の「HOT NEWS」に「ゼロからのコントラクトブリッジ」が紹介された。

・パズル誌12月号およびSKYMARK機内誌12月号にブリッジクイズ広告を掲出した。

・普及通信を10月30日、11月29日に更新した。

5. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況及びシルバーライフマスター8名、シニアライフマスター19名、ライフマスター26名の資格取得者の報告があった。

12月3日に開催された服部杯は今回からセンター主催となったが、一部のセンターで提供された賞品に、連盟開催時の内容から金額的に減額されたものがあり、連盟と同レベルのものを提供するよう是正するように該当センターに勧告することになった。

6. 国際交流事業部

西田奈津子氏より11月27日から12月1日に開催されたASEANブリッジクラブ選手権大会開会式において連盟から提供されたレイテ島台風災害義捐金50万円をフィリピン・トーナメント・ブリッジ協会会長に手渡した旨の報告があった。

現時点でのNEC杯招待9チームおよび自費参加2チームのリストの提出があった。

12月14, 15日に開催された日本代表選抜試合においてテストを行ったリアルタイムスコア表示システムについて、問題なく作動したとの報告があった。今後日本リーグ、朝日新聞社杯フライトAなどでテストを行い、NEC杯で使用するとの説明があった。

第7号議案 その他の議案

1. 職員の退職について

鳩山会長代行より会報編集を中心に業務を行っている野田祐子職員が、2014年5月頃を目処に退職することになり、今後は総務担当の兼岩理事と事務局長を中心に対応を検討するとの報告があった。

2. 福岡ブリッジプラザについて

鳩山会長代行より今年4月に独立した福岡ブリッジプラザがNPO法人の申請を行い、2015年4月に設立見込みとの報告があった。

3. 普及予算案について

齋藤理事より、来年度予算のうち普及事業部長の地方出張の際の競技会参加料が計上されている点についての問題の指摘があった。また、大学でのブリッジ講座について、多額の経費を支払いながら計画や報告の提出がない点について、連盟宛に提出するべきとの発言があった。中谷理事より大学囲碁講座の経費や広報の手段について日本棋院の高野英樹氏に聞き取りをする提案があった。

4. 次回の理事会開催について

次回理事会は2014年1月24日（金）18時30分より開催する。

当日配布書類：第6号議案「首都圏ブリッジセンター連絡会宛『要望書に対する回答と提

案』、「ブリッジセンター・ブリッジクラブの普及活動に対する支援」

「第2回アジアカップ日本代表の指名について」

「レイテ島台風災害義捐金報告」

「Candidates for 2014 NEC Cup Invitation Teams」

「リアルタイムスコア表示システム画面コピー」

平成25年12月20日（2013年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第13回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 大泉 紘一

監 事 成田 秀則